

茶匠から聞く「こだわり」 6/11

茶農家がもてなす「川根茶を楽しむ会」を茶茗館で開催

町内6軒の茶農家が一堂に会して呈茶する「川根茶を楽しむ会」が、道の駅「フォーレなかかわね茶茗館」にて開催されました。

参加した茶農家は、相藤園・相藤農園・高田農園・丹野園・つちや農園・松島園の6軒。「夢の吊橋」からの帰り道に偶然来場したという三木靖志さん(静岡市)は「1煎目と2煎目の違いや深い甘みなどを味わうことができ、お茶のイメージが変わりました。ぜひお茶を買って帰ろうと思いますが、どの茶農家さんのものにするか、悩みどころです」と笑って話しました。



約120人が参加し、飲み比べや生産者との茶談議を楽しんだ。

6/17 「自転車の運転」安全・正確に

子供自転車大会県大会に中川根南部小学校が出場



実際の道路状況を模したコースで実技に臨む児童。

第50回交通安全子供自転車静岡県大会が、静岡市葵区の体育館にて開催されました。

大会には、県内全域から29チームが出場し、自転車の安全運転技術を競いました。島田地区からは、5月に開催された地区大会で最優秀賞となった中川根南部小学校(榎本伽音さん・瀧尾勇智さん・古林輝晟さん・西村美希さん、いずれも6年生)が代表として出場しました。

審査の結果、惜しくも入賞は逃しましたが、出場した児童らは日ごろの練習の成果を精いっぱい発揮しました。

7月29日、長島ダムがおもしろい

「森と湖に親しむ旬間」は、森林や湖に親しむことにより心身をリフレッシュしながら森林やダムなどの持つ自然豊かな空間や、社会生活に果たしている役割について理解を深めてもらうことを目的としたイベントです。

- ▼日時 7月29日(土)午前10時から午後7時30分まで 小雨決行(湖面巡視は小雨および雷注意報で中止)
- ▼会場 長島ダム、ふれあい館、接岨湖周辺
- ▼内容 長島ダム内部探検ツアー(各回20名)・ダム湖巡視体験(各回8名)
長島ダムナイトツアー(最大30名)・語り部 など

※1 長島ダム内部探検ツアー・ダム湖巡視体験・長島ダムナイトツアーは、事前の電話予約が必要です。

※2 巡視体験は、小学生以上限定です。 ※3 内部探検では、約80段ほど階段を昇降します。

▼主催 長島ダム水源地域ビジョン推進会議 ▼共催 大井川長島ダム流域連携協議会

【問・申】 国土交通省長島ダム管理所 ☎(59)1021(平日午前9時から午後5時まで)

カヌーで巡る新緑の接岨湖 5/14

町民向け、カヌーの魅力にふれる体験会を開催

町民向けの「カヌー体験会」が接岨湖で開催され、13人が参加しました。

この体験会は、町民自身にカヌーの魅力を体感してもらうことで、「カヌーのまち」づくりに向けた機運を高めようと、町教育委員会が企画しました。

参加者は1人乗りのカヤックや数人でパドルをこぐEボートなどに乗り込むと、奥大井接岨湖カヌー競技場から奥大井レインボーブリッジの下までの約1^{キロ}の行程を、山々の新緑を楽しみながら往復しました。



普段は見る機会のない、下からのレインボーブリッジに歓喜。

6/7 学ぼう「いのちを救う方法」

本川根小の児童が救急救命講習を受講

本川根小学校の4年生から6年生までの児童28人は、救急救命講習を同小にて受講しました。

講習では、静岡消防局本部と川根北出張所の職員が講師を務め、119番通報での話し方や心肺蘇生法、AEDの使用方法などを実技を交えて学びました。人形を使った「胸骨圧迫」の講習では、職員のアドバイスを受けながら、腕を押し込む角度や間隔に注意して練習しました。

受講後、鳥澤光佑さん(6年)は「将来は救急救命士になりたい。もし具合が悪そうな人を見かけたら、声を掛けてあげたい」と話しました。



順番に交代しながら絶え間なく続けた「胸骨圧迫」の練習。

プロ棋士と対局！ 5/27

日本将棋連盟が町放課後児童クラブに将棋セットを寄贈、記念イベントを開催

町放課後児童クラブは、日本将棋連盟より将棋盤と駒10セットの寄贈を受けました。

当日は、青野照市九段と竹部さゆり女流三段が山村開発センターを訪れました。青野九段は、集まった児童や保護者ら30人に「将棋を通して『考える力』を鍛えてみて」と呼び掛けました。

また贈呈式終了後には、児童と両棋士が一緒に駒を使った遊びや指導対局を楽しみました。

寄贈された将棋セットは、登校日の放課後に本川根小と中央小で開かれる「放課後児童クラブ」での活動に利用されます。



子どもたちに駒の動かし方を優しく教える竹部女流三段。